

2023年

家庭の容器包装プラスチック 使い捨てプラスチック調べ

148人の声



2024年3月

大阪府生活協同組合連合会
全大阪消費者団体連絡会
地球環境市民会議 (CASA)

2020～2023プラスチック調べ報告書、
プラスチック調べの用紙、その他の資料は
大阪消団連webサイトで公開しています。
自由にご活用ください。

<https://osakacon.org/pr.a.html>

家庭のプラスチック調べ



<https://osakacon.org/pr.a.html>

家庭のプラごみ調べ 概要

① プラごみ調べの期間

- ・ 2023年7月～11月の間の連続3日以上を参加者が自由に設定

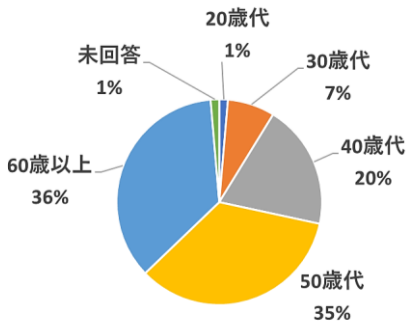
② プラごみ調べの方法

- ・ ごみとして捨てた容器包装プラスチックと使い捨てプラスチック製品の日毎の“数”（大きさ・重さは問わない）を、10分類に分けて記録

* コンシューマーズ京都作成のフォーマット（2019年）を一部変更して使用

③ プラごみ調べの参加者

- ・ 148人
- ・ 大阪府内29市町村の居住者
- ・ 平均調査日数 4.4日、平均同居家族人数 3.0人（本人含む）
- ・ 年齢構成



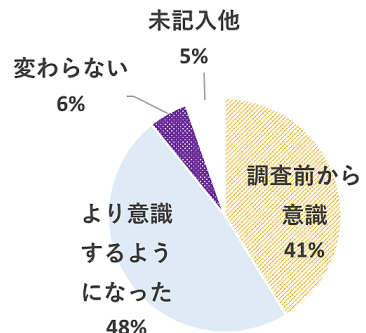
- 目的はプラごみ問題について、日々の暮らしの中で考える“きっかけ”にすることです。
- データの正確性は求めていませんので、次ページのプラごみの数・分類はおよその状況としてご覧ください。

④ 調査後の意識の変化

* 調査前と比べて、買い物やゴミ出しをする時にプラごみについて意識するようになりましたか？

<選択肢>

- 「調査前から意識していた」
- 「より意識するようになった」
- 「変わらない」



平均プラごみ数（7日換算合計）は160.0個

- ・プラごみ数の集計は、記入データ不備を除いた145人分
- ・最多 822.2個、最少 13.1個（ばらつき大）
- ・食品関係 74%（*分類1～5）
- ・容器包装類 70%（*「容器本体」と「フタ・留具・ラベル・ラップほか」）
- ・製品類 29%（*「製品本体」と「本体」および「食品ラップ」）
- ・レジ袋・ポリ袋 7.7個、配達用袋類 6.2個

1. 飲料・酒				2. 食品			
容器本体			合計	容器本体			合計
ペットボトル	ペット以外のボトル	外袋・カップ・トレ・チューブ など		ペットボトル	ペット以外のボトル	外袋・カップ・トレ・チューブ など	
6.6	1.3	4.0	18.3	1.3	0.7	45.8	73.9

3. 添付の使捨て食器				4. 自分で購入した使捨て食器				5. 食品ラップ
製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップほか	合計	製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップほか	合計	合計
1.7	2.0	1.6	5.3	0.8	0.3	0.2	1.4	20.0

6. 生活用品				7. ペット用品			
製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップほか	合計	製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップほか	合計
10.3	10.3	4.4	25.0	0.1	0.1	0.0	0.3

8. レジ袋・ポリ袋			9. 配達用の袋類			10. その他・不明		
本体	その他	合計	本体	その他	合計	容器本体	その他	合計
7.0	0.7	7.7	5.9	0.3	6.2	1.1	0.9	1.9

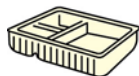
総合計	平均値	160.0	ごみ数	50未満	50～100	100～150	150～200	200～250	250～300	300～350	350～400	400～450	450～	計
	最大値	822.2	内訳											
	中央値	137.7	人数	10	24	50	25	18	8	6	2	2	1	146
	最小値	13.1	構成比	6.8%	16.4%	34.2%	17.1%	12.3%	5.5%	4.1%	1.4%	1.4%	0.7%	100%

消費者148人の声

不要と感じた容器包装プラ・使い捨てプラ

①食品トレー

・「肉、魚、野菜、菓子などで不要なトレー」の声が40件超



②ペットボトルのラベル 「不要・もっと小さく」が20件超

③個包装 20件超「個包装でないものを選べるよう」の声も

④多重包装 「無駄に二重・三重に」 15件超



⑤留具・クロージャー 食パン・野菜に10件超



⑥食品以外

紙箱の外装フィルム、ダイレクトメールの封筒など

***プラスチック使用が減ってきているという声が増えました。**

台所でプラスチック使用量を減らすアレコレ

①手作りを楽しむ

例えば野菜。本格的な家庭菜園でなくても、キッチンでベビーリーフやカイワレ大根を育てたり、買ってきたネギを再生したり。

例えばお茶。京都市にはお茶文化の継承の意味も込めて「リーフ茶でペットボトルを減らそう」というキャンペーンがあります。麦茶も丸粒から煮出せば、バック不要です。

例えばドレッシング。「手作り 簡単 ドレッシング」などとネット検索すれば、家にある調味料でできるレシピがたくさん出てきます。時々試してはどうでしょうか。

②レンジの蓋は「レンジ可の陶磁器」でも代用可

プラごみ調べでは食品ラップの使用数も数えていただくので、毎回、関心が寄せられます。保存時には密閉容器や蜜蝋ラップなどへの切り替えができますし、レンジで加熱する際には、食器棚にある「レンジ使用可の陶磁器」をかぶせて使うこともできます。

プラごみを減らす工夫、提案、意見

＜消費者の取組＞

① 必要のないものを買わない、プラでないものを選ぶ

- ・ 過剰包装のものは買わない
- ・ ペット飲料、総菜、弁当はなるべく買わない
- ・ 食品ラップではなく、陶磁器・シリコンの蓋、蜜蝋ラップを
- ・ 詰替のある商品を選ぶ、固形石鹸を使う
- ・ ゴミ箱には新聞紙を折って内袋に
- ・ 合成繊維の服を避ける



② プラを断る

- ・ 不要なスプーン等はもらわない
- ・ エコバッグは3つ持ち歩き使い分け

③ プラを再利用する

- ・ パン袋などゴミ袋代わりに、チャックシール袋は洗って再利用
- ・ プリンや豆腐の容器、ペットのキャップなど工作・手芸に

⑤ リサイクルする

- ・ 厳密に分別しリサイクルに
- ・ 生協の配達袋は返却、コンタクトケースはリサイクルBOXへ

⑥ その他

- ・ できるだけ素材から手作り、お茶は自分で沸かす
- ・ 過剰なきれいさを求めない、将来の人のことを考える
- ・ プラを減らすように要望する
- ・ プラごみを減らす重要性、そのためにしていることを伝える

＜事業者・社会の取組＞

- ・ 過剰な包装・トレー等を止める、サイズ・厚さを減量する
- ・ ばら売り、計り売りを増やす
- ・ 使い捨て食器すべての有料化、レジ袋の製造中止
- ・ ペットボトル回収機をふやす、無料給水器をふやす
- ・ 業界全体でルールを作る
- ・ プラスチックの値段を上げる（環境税など）

- いつも思うことですが、プラごみのごみ箱が一番先にいっぱいになってしまいます。もっとプラごみを減らすための工夫が必要だと思いました。
- 食事の用意をするたびに、これもあれもプラごみと思うと、うんざりするほどでした。プラごみが出ない日はなく、せめて、週に一度でも出ない日があると良いのですが…。現実は厳しいです。
- 葉が入っている容器もやはりプラで、プラ製品に囲まれていること改めて実感しました。石油系でないものや、自然分解できるプラのような、地球にやさしいものが多く開発されたいいなあと思いました。
- マイクロプラスチックが自然環境に散らばって、人体に取り込まれるという怖い話もありますね。マイクロサイズになる前に、きっちり回収、リサイクル（または処分）できたらいいのにと思います。
- 便利な生活になれてしまったら（プラスチックの袋使用）、原始時代には戻れない。
- 思っている以上にプラごみが多く、数えるのが大変でした。なるべく減らして、リサイクルしててもゼロにするのはむずかしい。
- ごみを減らすことを意識して生活していると、たいいていのものは減らすことができるように思うが、プラごみだけはなかなか減らない…。それだけプラは利便性が高いということですね。まずはゆとりや余裕のある生活を心がけることが、プラごみ減につながるのかもしれません。
- 多くの道具や製品そのものがプラスチックであり、日光や時間などで風化するなど、空气中、海中のマイクロプラスチックが心配です。使うもの、手にするもの、最終処分までの想像力をみんなが持って、一人一人が意識を持って、地球を少しでも守れるようにしたいと思います。
- 今秋は真夏のような気温の日があり、少し前までの日本の気温ととても違うなと実感しています。地球の気温（温暖化）がかなり進んでいるのではと思います。一家庭のごみ問題と思わず、地球全体のこともよく考えて環境問題という視点でも考えていこうと思いました。

プラごみ調べについての声

- プラを調べて、こんなにじっくりとラベルを見たことがなかった。プラだらけですね。びっくり。環境について少し興味が湧きました。以前、海の生き物が、プラごみで命を脅かされるのを聞いたことがあります。調べてみて、自分がたくさんプラごみを出しているのに気づきました。プラごみを減らさなきゃと思った。少しでも環境がよくなればいいなあ。



- 最初は面倒くさいと思いました。2～3日すると、スムーズにできるようになり、子どもも協力的で、後半は達成感もあり、いい6日間を過ごすことができました。一世帯がすることは微々たるものですが、これからも意識して考えながら、取り組んでいきたいと思います。
- 子どもと一緒に普段より分別するようになりました。改めて数を見て、たった3日間でも多いと感じました。環境のことを考えるいいきっかけになりました。

事業者・社会への声

- 買わない使わないことには限界があるので、企業からつくらないようにしてほしい。
- 単価が高くなる商品ほど、パッケージや容器にお金をかけて、無駄な包装や素材が多いように感じました。
- 過剰包装まだまだ見られます。理由があつてのものもあるのかもしれませんが、トレーに入れて更にラップをかけるなど、不要でしょと思うものも多いので改善してほしい。
- 買い物方法を変えないと減らないなあと感じました。量り売りやはだか売り（野菜など）ならいいのと思います。
- マイバックでレジ袋代が浮いた分、何か消費者に還元すれば、さらに徹底されるのでは？
- お菓子や海苔で今回プラから紙の包装に代わったものにいくつか会いました。企業さんもそういった考えに移行していているところも増えていき、こちらのイメージもよくなっています。

家庭のプラごみ調べ2023 まとめ＆呼びかけ

(1) 自分が捨てているプラごみを見つめましょう

* 日々のくらしの中で気づき、考える“きっかけ”として

(2) 科学の知見に学び、プラごみ対策の緊急性を共有しましょう

* 科学が明らかにしつつあるリスク（生態系汚染・温暖化の一因、人体への影響）を放置せず、対策を

(3) 3Rの優先順位で、それぞれ大胆な取組を進めましょう

* リデュース（減量）を最優先に→リユース（再利用）→リサイクル（再生）の順番で

(4) プラごみ減らしを楽しみましょう

* 自分のくらしの見直しを少しずつ

(5) 企業・行政にも「声」を届けましょう



分別回収をめぐるアレコレ

①分別回収の後、本当にリサイクルされているの？

自治体による回収後の選別では1割程度が異物や汚れがひどいものとして取り除かれます。リサイクル工場では約5割が再生プラスチック原料になったり、ガスや油の状態にして製品原料に使うなどして、リサイクルされています。残りの5割はリサイクルできない残渣として、ごみ発電用の燃料に加工されるなどして焼却時のエネルギーが回収されています。

②汚れているプラごみをどこまで洗う？

軽く水洗いしても汚れが落ちなければ、焼却ゴミとして出すこととしている自治体が多いです。回収・選別・保管時の異臭・衛生上の問題とのことです。

③リサイクルすれば、たくさん使ってもいい？

様々なプラスチックの種類が混在しているとリサイクルできても品質が悪く、用途が限られます。リサイクルにもエネルギーが必要で、永遠にリサイクルし続けることはできません。また、余りにも多くのプラスチックを消費しているため、環境中への意図しない放出をなくすことは不可能です。社会全体で使用量を減らすことが求められる状況ではないでしょうか。

<お問合せ>

全大阪消費者団体連絡会（大阪消団連）

大阪府中央区本町2-1-19-430 TEL.06-6941-3745（平日10～17時）

e-mail : shodanren@osakacon.org